ブラッシュアップ研修会

第47回「ブラッシュアップ研修会」を2026年12月20日午後に開催致します。

申込法：　お手数ですが、
申し込みフォームより必要事項（氏名、ふりがな、卒業年度、卒業学科、メールアドレス、懇親会参加の有・無）を記載して登録をお願いします。

＊定員25名（先着順）

協賛：名教自然会

	日時	場所	テーマ
第47回	2026/12/20 14:30～17:00	かながわ労働プラザ 第４会議室	1．製造現場のデータを価値に変える ― Project ASHITAの挑戦と学び Astemo株式会社 井上 康介（平成元年　生産卒） 2．電磁波を用いた文化財の科学調査の紹介 横浜国大 地球文化財学研究ユニット 福永 香 先生

第４８回「ブラッシュアップ研修会」を2027年3月14日に開催予定です。

申込フォーム：左記のQRコードより登録お願いします。
https://meikyoshubi.com/brush_up/entry_form/

講演概要

卒業生	先生
製造現場のデータを価値に変える ― Project ASHITAの挑戦と学び	磁波を用いた文化財の科学調査の紹介
製造現場に存在する膨大なデータを、いかに現場改善や事業価値につなげるか。Project ASHITAでは、製造データを収集・活用する共通基盤づくりと、その利用拡大に取り組んできました。本講演では、プロジェクト立ち上げの背景やアプローチ、現場展開で直面した課題や試行錯誤を紹介し、成功事例だけでなく実際の苦労も交えながら、製造業DXを推進する中で得られた気づきや学びをお話しします。	我々が歴史的な芸術作品を鑑賞できるのは，先人達がそれらを修復しながら伝えてきたおかげです。作品の修復は外科手術に相当し、予算と時間が許せば処置前の診断に科学的な調査を行います。特に電磁波を用いるセンシング技術は非破壊で内部を観察できるため広く用いられ，先進国では理工系に属するHeritage Scienceの重要テーマです。本講演では研究者が増えている情報系のHeritage Informaticsも合わせてご紹介します。
Astemo株式会社 井上 康介（平成元年　生産卒）	横浜国大 地球文化財学研究ユニット 福永 香 先生

講師略歴

福永　香　先生

郵政省通信総合研究所(現：情報通信研究機構)において，
誘電・絶縁材料評価，電磁波センシング技術の応用に30年従事。
2025年6月：横浜国立大学総合学術高等研究院地球文化財学研究ユニット代表

井上 康介　氏　技術士（機械部門）

1991年：横浜国立大学大学院生産工学専攻修了
同年4月：株式会社日立製作所に入社
生産技術研究所にて、半導体ウェハ搬送ロボット、光通信部品、半導体パッケージング、
車載用リチウムイオン電池などの生産技術開発や生産ライン構築に従事。
2017年：日立オートモティブシステムズ株式会社（現Astemo株式会社）にて、
グローバルに展開する自社工場のIoT化やDX推進に携わる。

申し込み方法と会場案内

氏名、ふりがな、卒業年度、卒業学科、メールアドレス、懇親会参加の有・無を明記のうえ、
HP申込フォーム又は、下記　名教就美会事務局にメールでお願いいたします。
メール：doso-m@ynu.ac.jp
研修会参加費：５００円　（同伴者１名無料），学生無料
懇親会参加費：名教自然会傘下の同窓会員２０００円，その他３０００円，学生無料　（同伴者１名無料）

